

平成 29 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 30 年 7 月

食肉衛生検査所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	1
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	4
8	収入事務処理状況調べ	4
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	6
11	不納欠損額調べ	6
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9
14	財産に関する調べ	10
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	12
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	14
19	備品の処分状況調べ	15
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	15
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	当年度における業務の概要	16
22	精密検査の状況	18
23	調査研究	19
○	意見、要望等	20

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
	管理検査担当	・と畜検査に關すること。※ ・と畜場の衛生に關すること。
	試験検査担当	・食肉等の試験検査に關すること。 ・食肉等の衛生に關すること。

※ 獣医師職員全員で行っている。

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計			備考
	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	29.4.1現在	
定員	0	0	12	13	0	0	12	13		
現員	() 0	() 0	(1) 10	(1) 11	() 0	() 0	(1) 10	(1) 11		産前休暇1名(H30年度)
過不足(Δ)	0	0	Δ2	Δ2	0	0	Δ2	Δ2		欠員
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0		
非常勤職員	1	1	5	4	0	0	6	5		欠員2名、産前休暇1名、部分休業補填分を非常勤職員(獣医師5名)で代替

5 役付職員の調べ

(平成30年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	上田豊	1	3	
次長	田中啓子	3	3	出納員
課長補佐	森川伸昭	4	3	
課長補佐	大下幸子	1	3	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	使用料・手数料	その他
食肉衛生検査所管理運営事業	16,170,992	1,620,000	14,544,621	6,371
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

・と畜場法に基づくと畜検査を厳正に行い、と畜場及び食肉処理施設への衛生指導を徹底し、又と畜検査情報を生産者に還元することにより、安全な食肉を消費者に提供する。

(イ) 事業の実施状況

(1) と畜検査 (詳細は 2 1 当年度における業務の概要を参照)

(平成 3 0 年 3 月 3 1 日現在)

	と畜検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数	TSE・BSE検査頭数	精密検査件数
牛	6,140	89	3,955	0	1,844
とく*	8	2	4		0
豚	79,870	67	30,930		2,184
めん羊	3	0	0	0	0
山羊	1	0	0	0	0
計	86,022	158	34,889	0	4,028

※「とく」: 生後 1 年未満の牛

(2) 施設及び処理作業の衛生確保

と畜場施設及び食肉処理施設の監視を (株) 鳥取県食肉センター職員立会いの下で毎月行い、施設の衛生的な改善を指導した。また、毎週枝肉の拭き取り検査を行い、汚染状況を確認し、作業環境の改善に貢献している。

(3) と畜検査情報等の還元

と畜検査の結果を生産農家ごとに集計し、罹患率・廃棄率等の統計を取り毎月情報提供を行った。また、家畜保健衛生所とも情報共有して農家の指導等に役立ててもらった。

イ 平成 2 9 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

特になし

ウ 成果及び効果

(1) 食肉衛生検査

と畜検査、拭き取り検査等により、食肉の安全の確保に寄与した。

(2) 施設及び処理作業の衛生確保

と畜場、食肉処理施設における施設、処理作業の衛生指導を徹底することにより、衛生的な食肉を確保し、(株)鳥取県食肉センターの牛枝肉のマカオ輸出認可登録(平成29年12月)に貢献した。

(3) と畜検査情報等の還元

フィードバック事業に参加した生産者等へと畜検査データを提供することにより、生産性の向上、家畜飼養管理の改善に役立てていただき、健康な獣畜の出荷に寄与した。

エ 課題

・人員の確保

と畜検査員はと畜場法で県の獣医師でなければならないと定められているが、平成28年度以降継続して欠員が生じている。職員の産休・育休時に正職員の異動で対応することも不可能な状況になっている。獣医師正職員の確保が急務である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成30年5月31日現在)

収入科目		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節				
	と畜検査手数料				
	1. 病畜以外の獣畜	85,423		38,539,970	
	a. 生後一年未満の牛・馬	5			
	1) 生体50kg以上	5	450	2,250	
	2) 生体50kg未満	0	200	0	
	b. 生後一年以上の牛・馬	5,548	900	4,993,200	
	c. 豚	79,866	420	33,543,720	
	d. めん羊・山羊	4	200	800	
	2. 病畜	599		778,700	
	a. 生後一年未満の牛	3	1,300	3,900	
	b. 生後一年以上の牛	592	1,300	769,600	
	c. 豚	4	1,300	5,200	
	3. 証明書の発行	50	420	21,000	
	小計	86,072		39,339,670	
	衛生試験検査手数料				
	食肉の一般試験	75	3,300	247,500	
	小計	75		247,500	
	目計	86,147		39,587,170	
	合計	86,147		39,587,170	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成30年5月31日現在) (単位: 円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	1	66,672	66,672	0	0	鳥取県行政財産使用料条例(第2条、3条)	
	計 (行政財産使用料)	1	66,672	66,672	0	0		
目	計	1	66,672	66,672	0	0		
合	計	1	66,672	66,672	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成30年5月31日現在) (単位: 円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
雑入	雑入	4	24,610	24,604	0	6	行政財産使用許可(許可条件6)	
	光熱水費	12	6,371	6,371	0	0		
	非常勤職員雇用保険料							
	計 (雑入)	16	30,981	30,975	0	6		
目	計	16	30,981	30,975	0	6		
合	計	16	30,981	30,975	0	6		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

イ つり銭の状況

該当なし

該当なし

9 収入未済額調べ

(平成30年5月31日現在)
(単位：円)

区分 収入科目	過年度				年度分			現年度分		収入未済額計 A+B	未収理由
	前年度以 前からの 繰越額	左のう ちの収 入済額	不納欠 損額	収入 未済額 A	収入未済額の調定年度内訳			収入 未済額 B	調定額		
					26年度 以前	27年度	28年度				
雑入											
節入											
細節											
光熱水費											
計(節)									24,610	24,604	6
目計									24,610	24,604	6
合計									24,610	24,604	6

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
 (1) 負担金

(平成30年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備 考
新規以外のもの						47,000		
目 計						47,000		
合 計						47,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成30年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間	契約 期間			支出 年月日	支出 区分	金額	
食品衛生 指導費	単 県	空調設備保 守点検	三和商事 株式会社	388,800	(29.4.1)	29.4.1 ~ 30.3.31	29.3.27 (免除)	30.3.31	精	30.4.13	388,800		
食品衛生 指導費	単 県	BSE検査機器 (電子天秤、 マルチ-スレンジ ャー) 保守点 検	有限会社 友田大洋堂	25,4000	(29.9.7)	29.9.15 ~ 29.12.28	29.8.21 (免除)	29.10.27	精	29.11.9	253,368		
食品衛生 指導費	単 県	BSE検査機器 (マイクプロ レート リーダ-、マイク プレートオ フ -) 保守点検	有限会社 友田大洋堂	19,3000	(29.8.30)	29.9.11 ~ 29.12.28	29.8.21 (免除)	29.9.15	精	29.10.5	192,240		
食品衛生 指導費	単 県	産業廃棄物 処理	三光 株式会社	150,000	(29.12.8)	29.12.8 ~ 30.3.31	29.10.30 (免除)	30.1.26	精	30.2.5	124,686		
食品衛生 指導費	単 県	庁舎警備	株式会社 協同警備保 障	103,680	(29.4.1)	29.4.1 ~ 30.3.31	28.10.18 (免除)	30.3.31	精	30.4.16	103,680		
予定価格が 250万円未満 のもの				141,588							141,588		

目 計												1,204,362
合 計												1,204,362

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ
 (1) 公有財産
 ア 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	食肉衛生検査 所庁舎敷地	西伯郡大山町 小竹1291-7	1,483.53	3,281,568	増加	H	—	—	H	—	—	1,483.53	3,281,568	
計			1,483.53	3,281,568								1,483.53	3,281,568	
普通 財産	—	—	—	—	増加	H	—	—	H	—	—	—	—	該当なし
計			—	—	減少	H	—	—	H	—	—	—	—	
合計			1,483.53	3,281,568								1,483.53	3,281,568	

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	食肉衛生検査 所庁舎敷地	西伯郡大山町 小竹1291-7	633.45	76,264,105	増加	H	—	—	H	—	—	633.45	76,264,105	
計			633.45	76,264,105	減少	H	—	—	H	—	—	633.45	76,264,105	
普通 財産	車庫	西伯郡大山町 小竹1291-7	16.15	1,134,000	増加	H	—	—	H	—	—	16.15	1,134,000	
計			16.15	1,134,000	減少	H	—	—	H	—	—	16.15	1,134,000	
普通 財産	会議室	西伯郡大山町 小竹1291-1	49.68	4,017,000	増加	H	—	—	H	—	—	49.68	4,017,000	
計			49.68	4,017,000	減少	H	—	—	H	—	—	49.68	4,017,000	
普通 財産	—	—	699.28	81,415,105	増加	H	—	—	H	—	—	699.28	81,415,105	該当なし
計			699.28	81,415,105	減少	H	—	—	H	—	—	699.28	81,415,105	
合計			699.28	81,415,105								699.28	81,415,105	

施設の評価額については、県有施設は課税対象ではないため計算されていないことから初期算定額を記載。(大山町税務課確認)

ウ 山林 該当なし
 エ 動産 該当なし
 オ 物権 該当なし
 カ 無体財産権 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
 ア 金券の受払状況

(平成30年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 14,615	円 62,770	円 51,643	円 25,742	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	14,615	62,770	51,643	25,742	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成30年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
枚 50	枚 0	枚 0 円 0	枚 50

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	財団書類庫用地	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 5.056	平成29年3月16日	平成12年3月10日	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	丹轡・年額 272	272	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会	文書ID 16-00169959	
計								272			
普通財産							月額・年額				該当なし
計								272			
合計								272			

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	財団事務所及び倉庫	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 19.845	平成29年3月16日	平成12年3月10日	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	丹轡・年額 66,400	66,400	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会	文書ID 16-00169959	
計								66,400			
普通財産							月額・年額				該当なし
計											
合計								66,400			

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

(平成30年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)	住所氏名	備考	
土地	宅地	会議室用地	西伯郡大山町 小竹1291-1	133.00㎡	有	29.4.1 ～ 30.3.31	単価 昇替・年額 48,000	本年度の借料 48,000	西伯郡大山町 小竹1291-1 (株)鳥取県食肉センター	
合計								48,000		

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成30年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町小竹1291-7	12.5	1,000
普通財産			

イ 異動状況
(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免	0人	うち減免	0人	うち減免	15人				
4月	15人	0人	0人	0人	15人	15人	0円	免除(減免理由4) 10/10			
5月	15	0	1	1	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
6月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
7月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
8月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
9月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
10月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
11月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
12月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
1月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
2月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
3月	16	0	0	0	16	16	0	免除(減免理由4) 10/10			
合計							—			—円	—円

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

(平成30年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備 考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・ 棄却理由	処分 年月日	売却額 ・ 処分費用	
オート高圧滅菌器 (ヤマト科学YY-213)	1	H8.10.25	5年	463,500	H29.11.13	故障	棄却	使用不能	H30.1.5	15,000円	
スマートティッシュプロセッサ (ライカASP200)	1	H29.11.2	5	4,373,250	H29.11.2	故障	棄却	使用不能	H30.1.5	20,000	
プロジェクター (エプソンEMP-765)	1	H18.4.25	5	210,000	H29.9.4	故障	棄却	使用不能	H29.9.4	0	台帳の誤登録
純水製造装置 (Elix Advantage3)	1	H22.5.25	5	577,500	H29.11.13	故障	棄却	使用不能	H30.1.5	8,000	
合 計				5,624,250						43,000	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
H29年 7月 19日 ~ H29年 8月 15日	・有 ・無	プロジェクター(エプソンEMP-765)	1

食肉衛生検査所個別様式

2.1 当年度における業務の概要

(1) 事業実施概要

安全で衛生的な食肉の確保を目的として、(株)鳥取県食肉センターと畜場に搬入された家畜のと畜検査を厳正に実施し、家畜疾病から食肉への危害発生を防止した。

と畜場の衛生対策としてHACCPの概念を取り入れてと畜場法政省令が改正され、平成12年4月1日から完全適用となった大動物処理施設及び、平成14年4月1日から完全適用となった小動物処理施設の改善及びと畜の衛生的解体処理方法について、助言・指導に努めた。

平成13年10月18日から全国一斉に開始されたBSE(牛海綿状脳症)全頭検査について、平成17年8月1日の規則改正により対象は月齢が21ヶ月以上の牛(本県では全頭対象)、平成25年7月1日の規則改正により対象は48ヶ月齢超の牛、平成29年4月1日の規則改正により健康牛が対象外になった。現在、生体検査等でBSEに罹患している疑いのある場合のみが検査対象となり、当該年度は検査対象となった牛はなかったため検査を実施していない。

また、平成17年10月1日からTSE(伝達性海綿状脳症)検査について、月齢が12ヶ月以上のめん羊・山羊が対象とされていたが(本県では全頭対象)、平成28年6月1日の規則改正により、月齢に関わらず生体検査でTSEを疑うような臨床症状を示す個体に対してのみが検査対象となり、当該年度は検査対象となっためん羊・山羊はなかったため検査を実施していない。

(2) と畜検査状況

平成29年度における総検査頭数は、86,022頭で、前年度に比較して1,298頭(約1.5%)の減であった。

畜種別内訳は、牛6,140頭(和牛1,823頭、乳牛4,317頭)で前年度に比較して305頭(約4.7%)の減であり、豚は79,870頭で989頭(約1.2%)の減であった。その他、とく8頭、めん羊3頭、山羊1頭であった。

(平成30年3月31日 現在) (単位:頭)

区分	和牛	乳牛	牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	合計
当年度	1,823	4,317	6,140	8	0	79,870	3	1	86,022
前年度	1,937	4,508	6,445	10	0	80,859	2	4	87,320
前年度比(%)	94.1	95.8	95.3	80.0	—	98.8	150.0	25.0	98.5

注 「とく」: 生後1年未満の牛

(3) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は35,047頭(総検査頭数の約40.7%)であった。

ア 禁止

とさつ禁止処分の獣畜はなかった。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は158頭で、畜種別では牛89頭、とく2頭、豚67頭であった。

原因別では、豚丹毒10頭、膿毒症43頭、敗血症19頭、尿毒症5頭、高度の黄疸15頭、高度の水腫29頭、牛白血病22頭、白血病4頭、腫瘍の多発1頭、全身性の筋肉変性10頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは34,889頭で、畜種別では牛3,955頭、とく4頭、豚30,930頭であった。

2.2 試験検査の状況

(1) 精密検査

精密検査の実施頭数は515頭で、検査のべ件数は4,028件と前年度と比較して76件(約1%)の増であった。

と畜検査に係る精密検査

(平成30年3月31日現在) (単位:頭、件)

検査区分 疾病名等		検査頭数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学検査	検査延件数
敗血症	牛	8	92	96			188
	とく						
	豚	18	153	214			367
	小計	26	245	310			555
膿毒症	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
尿毒症	牛	9				20	20
	とく						
	豚	4				6	6
	小計	13				26	26
黄疸	牛	23				30	30
	とく						
	豚	1				1	1
	小計	24				31	31
腫瘍	牛	1	13	10	11	1	35
	とく						
	豚						
	小計	1	13	10	11	1	35
炭疽	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
ヨ－ネ病	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
白血病	牛	23		10	266	1	277
	とく						
	豚	4			29		29
	小計	27		10	295	1	306
豚丹毒	牛						
	とく						
	豚	26	277	456			733
	小計	26	277	456			733
一般臨床	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
抗菌性物質残留検査	牛	4				8	8
	とく						
	豚						
	小計	4				8	8
枝肉の衛生状況検査 (O157及び生菌数)	牛	236		1,286			1,286
	とく						
	豚	158		1,048			1,048
	小計	394		2,334			2,334

食品汚染物質	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
残留物質モニタリング	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
合 計	牛	304	105	1,402	277	60	1,844
	とく						
	豚	211	430	1,718	29	7	2,184
	合計	515	535	3,120	306	67	4,028
前 年 度	合計	540	710	2,820	309	113	3,952

(2) 受託検査

株式会社鳥取県食肉センターから大腸菌数検査を75件受託し、検査した。

(平成30年3月31日現在) (単位: 件)

検査区分 項目	受託件数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学検査	検査延件数
ふきとり検査	牛	25		25		25
	豚	50		50		50
合 計	75		75			75
前 年 度	72		72			72

2.3 調査研究

(平成30年3月31日現在) (単位: 頭、件)

検査区分 項目	検査頭数 (件数)	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学検査	検査延件数
一般病理検査	7			79		79
微生物汚染防止	209	191	318		308	817
O157 PCR						
拭き取り(汚染源追求)	40		40			40
精度管理	6		5		32	37
残留物質	7				33	33
疾病原因調査						
その他	28				56	56
合 計	297	191	363	79	429	1,062
前 年 度	55	0	59	80	50	189

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

現在、定数12名のうち欠員2名、産休1名、部分休業3名で、その代替として5名の獣医師の非常勤職員が雇用されている。本来は正職員で補充されるべきところ獣医師不足により正職員が補充されないため、やむを得ず県獣医師OBに無理をお願いして勤務していただいている状況である。

当所の業務は経験者でなければ作業が難しく人材に限られるうえ、県の獣医師退職者がない今後数年は非常勤職員の雇用も不可能な状況が想定される。なお、非常勤職員は高齢化傾向にあり、28年度には1名が体調不良により中途で辞職されている。現状さえも維持できなくなる可能性が想定され、と畜検査業務の適切な遂行に支障をきたすのではないかと憂慮している。早急な獣医師確保を強く要望する。

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし。